平成24年第11回 幸手市教育委員会定例会会議録 平成 24 年 11 月 13 日 (火) 午前 10 時 00 分 集 召 期 開 숲 場 東中学校 会議室 所 開会の日時・宣告者 平成 24 年 11 月 13 日 (火) 午前 10 時 10 分 梨本松男 閉会の日時・宣告者 平成 24 年 11 月 13 日 (火) 午後 12 時 00 分 梨本松男 職 名 名 摘要 摘 要 氏 職 名 氏 名 員 梨本 松男 出席 教 育 長 戸田幸男 委 員 長 出席 出 席 職務代理 石井 澄江 出席 状 教育委員 幸 男 出席 書記:大竹孝典・森藤真紀 巻島 況 名 名 氏 職 氏 職 名 名 教育次長 成田博 議 総務 木村卓朗 課 長 事 学校教育課長 村田和夫 参 生涯学習課長 金子光夫

鈴木栄

市民スポーツ課長

与

者

	<u> </u>							
会議事件名	Ţ	顛	末					
開 会	委員長							
午前 10 時 10 分	開会を宣す	る。						
日程第1	委員長							
前回会議録の承認に	前回会議録	の内容について質問を	を求める。					
ついて	《質疑》	質疑なし。						
	《承認》	全員異議なく承認。						
日程第2	教育長および	各課長						
議案	議案書および資料により説明する。							
議案第26号	≪質疑≫							
教育委員会の事務に関す	職務代理							
る点検及び評価報告書に	No, 9「教育	相談体制の充実」につ	oいては、地域との連携が					
ついて	もっとスム	ーズに行われるような	な形がよいと思う。					
	また、No,1	1「学校・家庭・地域	なとの連携による青少年活					
	動の推進」は、例年実施されている取組だが、いじめ対策							
	というものが非常に問題視されているので、これについて							
	も連携の強化が必要ではないかと感じた。							
	ところで、No,14「指定管理者制度による施設の効率的・							
	効果的な活用」の「評価と課題」の中で、「報告書等をも							
	とにモニタリングを実施した結果、適正に管理されてい							
	た。」との記述があるが、モニタリングはどのように行っ							
	たのか。具体的な人数をカウントするなどして行ったの							
	カ。							
	学校教育課長							
	いじめ問題について、教職員全員がアンテナを高くし、子							
	どもたちの人間関係などをいち早く察知することが大事							
	であると思	う。						
	また携帯メ	ールなど、さまざまた	ょトラブルに対応するため					
	にも、子どもや保護者から相談等しやすいような体制や雰							
	囲気作りも大事であると思う。							
	先ほど、「地域との連携」というお話があったが、例えば							
	健康診断等を行う中で、学校医が気付いた点がないかご報							
	告いただくなど、学校医との連携も図っている。							
	また、登下	校時に集団から離れて	て歩いている子どもたちを					

心配した地域の方から、学校に連絡をいただくことで早期

対応ができた事例もあった。

こういったさまざまな場面で、学校への情報提供がなされる体制づくりの充実を、今後も図っていかなければならないと考えている。

職務代理

先ほど東中学校長からの学校運営にかかる説明を聞いて、 地域との連携を教育に生かした非常に素晴らしい教育を されていると感じたが、No,11 には例年実施されている取 組しかなく、時代のニーズや地域の問題に合わせた取組が 見受けられない。

また、いじめ問題については、いじめ対策はいじめ対策、 青少年活動の推進は青少年活動の推進と、連携が図れてい ないように感じる。

生涯学習課長

おっしゃるとおり現在、学校と生涯学習との連携が取れていないので、今後、生涯学習課が中心になって学校やPTAとの連携を図りながら、いじめ問題、青少年の非行問題等を取り上げ、非行防止に努めてまいりたい。

市民との協働による生涯学習の促進については、来年度、 社会教育委員を中心として情報交換を行うなど、地域との 連携を促進していく計画を予定している。

学校教育課長

生徒指導には、消極的なものと積極的なものがあり、気付いてから対応するのは消極的な生徒指導と考える。

積極的な生徒指導とは、「いじめは絶対にしない」という 心をはぐくむ指導であり、東中学校で実施した吉田幼稚園 児との交流活動は、大変良い取組である。

こういった豊かな心を育てる体験的な取組を学校や地域、社会教育団体を含めて実施してまいりたい。

職務代理

学校教育課と生涯学習課が非常に良く取り組んでいることは分かったが、青少年活動の推進の中で、地域との連携を図って非行を防ぎ、いじめをどれだけ減らしていくかといった対策をそれぞれの課が行っている縦割りなところの理解に苦しむ。

生涯学習課長

No,11 については、青少年活動団体の支援ではなく、青少年健全育成の観点から、いじめ対策や非行防止にかかる事

業を実施しているものである。

青少年活動団体の支援については、各団体が事業や活動等 をしやすいよう補助金を交付し、運営を支援するものであ る。

職務代理

つまりこれは青少年活動の推進ということか。

生涯学習課長

全体的にはそのとおりである。

職務代理

ここに書かれていることは、様々なイベントを提供して青 少年活動の推進を行っているというものであって、学校・ 家庭・地域との連携による青少年活動の推進とは違うので はないか。

生涯学習課長

青少年活動の推進の中には、青少年活動の健全育成が含まれている。また、体験活動の充実や青少年の自立促進、青少年活動団体等への支援は、学校・家庭・地域との連携による青少年活動の推進事業と認識している。

職務代理

学校・家庭・地域との連携による青少年活動の推進ということであれば、おのずといじめ対策との関わりが出てくると思うし、それに対して生涯学習課の支援や活動内容の掲載があるべきではないのか。

委員長

具体的にどの部分をどのように修正したらよいというご 意見があればお願いしたい。

職務代理

連携を図るのであれば、今以上にいじめ対策への取り組みが必要ではないか。また、平成23年度の主な取組自体がボーイスカウトなど昔からの継続事業が多いので、学校教育課のいじめ対策との連携も含めながら見直す時期にきているのではないか。

委員長

No,9 と No,12「市民との協働による生涯学習の促進」の中で、学校教育課長から学校・地域・家庭との連携の話があった。No,8「時代の変化に応じた教育の充実」についても同様であると感じたが、No,11 についてもいじめ関連の話を含めて連携している記載がないということでよいか。

職務代理

いじめ対策のための青少年活動の推進を行っているというのであれば、どの事業が地域との連携を図って実施しているのかの記述がほしい。

また、ボーイスカウトのように活動が以前より不活発化しているのであれば、変化を把握しながら見直していく必要があるのではないか。例年どおりの事業ということであれば、連携によるというものではないと考える。

委員長

確認するが、これは承認を得たのち12月議会へ提出する ということでよいか。そうであれば、具体的なご意見を提 示したほうがよい。

教育次長

本件は、議案として提出し、承認を求める案件であることから、修正点があれば修正したのち、議会に報告する形となる。

教育長

タイトルについては、平成23年度の教育行政重点施策と して承認をいただき、事業を進めてきた経緯があることか ら修正することはできない。

主な取組や評価と課題の中で、学校・家庭・地域との連携がどの程度具体化され、事業と絡んでいるのかが不明瞭とのお話しだと思うので、この点について文言の整理をし、加筆修正させていただければと思う。

委員長

はい。

学校教育課長

追加説明となるが、学校・家庭・地域との連携のうち、学校が主体となって行うものは学校教育課が、家庭と地域が主体となって行うものは生涯学習課が中心となって実施している。

No,11 の中で「子どもたちが、遊びや体験を通じて自主性や協調性を培うことができるよう各種事業の充実を図っていきます。」と記載してあるが、これは様々な交流を通じて子どもたちの自主性や協調性を伸ばしていくといった積極的な生徒指導にあたり、ついては青少年活動に推進に繋がると考えている。もちろん青少年活動を推進するためには、家庭と地域との連携だけでなく、学校の協力も欠

かせない。当然、その活動を通じて、いじめ等の問題も関わり、対応している。

委員長

教育長と学校教育課長の意見を受けて、石井委員からご意 見はあるか。

職務代理

評価と課題の修正しかないのであれば、それでお願いしたい。

教育次長

教育長が先ほど言われたとおり、タイトルの変更はできないが、評価については事務局が評価したものなので、ご意見やご感想があれば、変更は可能である。

また、課題についても加筆修正が可能である。

教育長

No,11 についてそれぞれの連携が、事業とどのように関わり、関わっていくべきなのかを付け加えるということでよいか。表現等についてはお任せいただきたい。

委員長

暫定の中で決を採るが、訂正点があれば事務局に連絡をとるということでお願いしたい。

市民スポーツ課長

指定管理者による施設の管理・運営にかかるモニタリングについては、市で定めた指定管理者マニュアルに沿って、指定管理者から年間事業報告書の提出をお願いしている。これに基づき評価項目が20項目あり、5点法で自己評価と所管課評価を行っている。

幸手市民文化体育館については100点中63点、総合評価は、A「良好に施設を管理している」と評価された。

評価項目の内容としては、職員体制や職員配置、職員の研修・教育、利用者拡大のための利用の促進、保守点検、利用者の満足度、危機管理、団体の経営状況などの評価を行い、その評点を毎年あげることになっている。

職務代理

決して高得点ではないが、適正に評価されていると認識した。指定管理者については、全てを委託・依存することは、 市民のニーズにそぐわないと思うので、モニタリングについて質問させていただいた。

≪探決≫ 全員賛成により議決。

議案第27号

平成24年度幸手市 一般会計補正予算(第一 2号)教育費の要求に ついて

教育次長

議案書により説明する。

≪質疑≫ 質疑なし。

≪探決≫ 全員賛成により原案どおり議決。

議案第28号

幸手市立図書館管理 規則の一部を改正す る規則

生涯学習課長

議案書により説明する。

≪質疑≫ 質疑なし。

≪探決≫ 全員賛成により原案どおり議決。

専決報告第9号

教育長の専決処理に対 する報告について

学校教育課長

臨時的任用教職員の内申の任免について説明する。

生涯学習課長

パート職員(歴史関係資料の整理等)の任免について説明 する。

≪質疑≫ 質疑なし。

≪探決≫ 全員賛成により原案どおり承認。

日程第3

行政報告

1教育長報告

教育長

教育長報告資料等により説明する。

- 1 幸手市議会文教厚生常任委員会所管事務調査の結果 報告について【10/23(火)開催】
- 2 読売センター幸手グループの協力により作成された 学校新聞の紹介

≪質疑≫質疑なし。

2事務局からの主要 総務課長 な報告

幸手市議会文教厚生常任委員会所管事務調査について、資 料により報告する。

学校教育課長

資料により報告する。

- 1 市内小・中学校ロードレース大会結果(第48回)に
- 2 平成25年度当初人事異動に関する校長ヒアリング
- 3 11月中旬から12月初旬の主な行事予定
- 4 吉田幼稚園の行事予定等

生涯学習課長

- 1 槙野地原遺跡見学会について
- 2 PTA連合会と市当局との懇話会
- 3 11月・12月の主な行事予定
- 4 各施設の利用状況 について、資料により報告する。

市民スポーツ課長

各施設の利用状況について、資料により報告する。

≪質疑≫

職務代理

先日、文化祭に参加させていただいた。子どもたちの展示物が素晴らしく、参加人数も昨年より増加しておるそうで大変盛況だった。参加者にはアンケートを配布しているそうなので、取りまとまったら結果をご報告いただきたい。

生涯学習課長

アンケートの結果については、現在取りまとめております ので、次回の定例会でご報告させていただく。

委員

学校と地域が連携していじめ対策を行っているところだが、子どもたちの意識の中で喧嘩といじめの境に対する認識が違うと感じたことがあった。学校と地域の目で、子どもたちの変化やいじめを見逃さないということも大事だが、視点を変えて「自分がされて嫌なことは人にしない」という観点・角度から指導すると、子どもたちにもストレートに伝わるのではないか。

学校教育課長

小学生低学年にいじめの定義と言ってもなかなか分からないと思うので、委員からお話があったとおり「自分がされて嫌なことは人にしない」といった指導を行っている。また中学生では、いじめのとらえ方が個々に違いもあることから、誰もが分かる表現で子どもたちへ指導にあたっていくよう校長会等で働きかけていきたい。

職務代理

11月5日(月)に開催、出席した埼葛地区教育委員会連合会・埼葛地区教育長協議会合同研修会の報告

日程第4 委員長 協 議 各委員の意見を調整した結果、次のとおり決定する。 次回定例会の日程に 第12回教育委員会定例会 日時 平成24年12月10日(月)午前10時~ ついて 場所 中央公民館 2階 集会室 閉 委員長 会 午後 12 時 00 分 閉会を宣す。

他 特 に 重 要と認める事項	な	L									
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。										
							平成	2 4	4年	12月	月10日
			委	II.	nIII(長	:	梨	本	松	男
			署	名	委	員		石	井	澄	江
			署	名	委	員	;	巻	島	幸	男
			署	名	委	員	;	赤	Л	昌	行
			署	名	委	員		戸	田	幸	男
			会記	義録記	調整耶	職員		大	竹	孝	典